

# 沿岸定線観測速報 ちば (2022年11月)

千葉丸：11月9～11日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和4年11月21日

黒潮は、房総沖で接岸し、北東方向への極めて速い流れが見られました (図2)。  
水温は、銚子・九十九里海域、外房海域ともやや高め～平年並でした (表1)。

(詳細)

各水深における平均水温は、銚子・九十九里海域の水深100m及び外房海域の水深50mで平年並みであった他は、やや高めでした (表1)。

水平方向には、各水深で岸から沖への顕著な水温勾配が見られました (図3)。鉛直方向には、犬吠埼沖の水深480m付近に低温(7℃以下)の水塊、九十九里沖の水深250m～350m付近に低温、低塩分(7℃以下、34.2以下)の水塊が見られました (図5,図6)

黒潮は接岸して北東へ流れていました (図2)。黒潮の北側や流路では4ノット～5ノットの極めて速い流れが見られました (図2)。

クロロフィル濃度は、水深10m, 50mとも1μg/L未満でした (図7)。

キンメダイ漁場は、勝浦沖では水温が水深50mまでは約1℃低かったものの、水深60m～130m, 180m以深で1～3℃高くなっていました (図8)。銚子沖では各水深で前年より高く、100m以深では5℃近く高くなっていました。塩分は両漁場とも海面～130mで0.1～0.2低くなっていました。

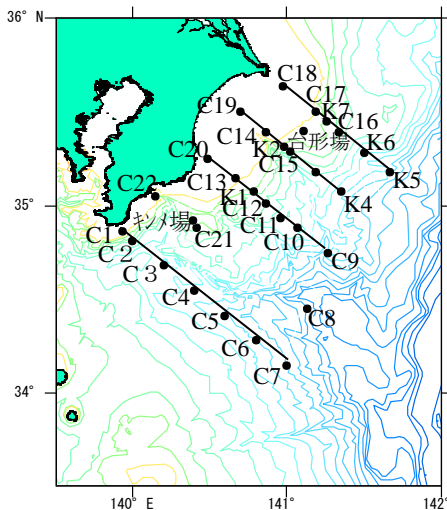


図1 調査点

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島崎南東線

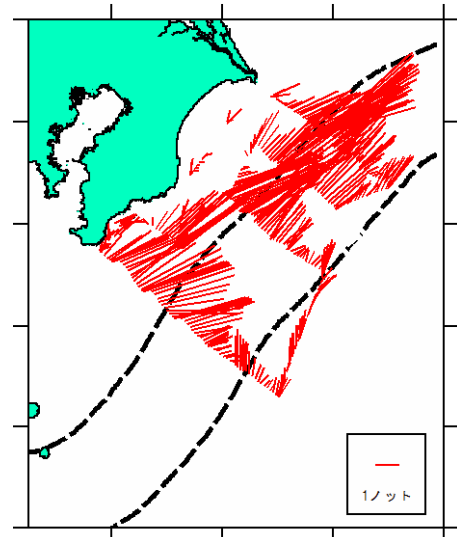


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	23.14 やや高め	22.67 やや高め	19.69 平年並	16.25 やや高め
外房	23.90 やや高め	21.96 平年並	20.42 やや高め	16.85 やや高め

\*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

\*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並	0.0 σ～0.6 σ, -0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

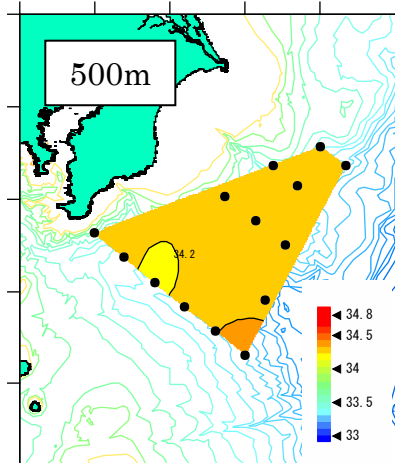
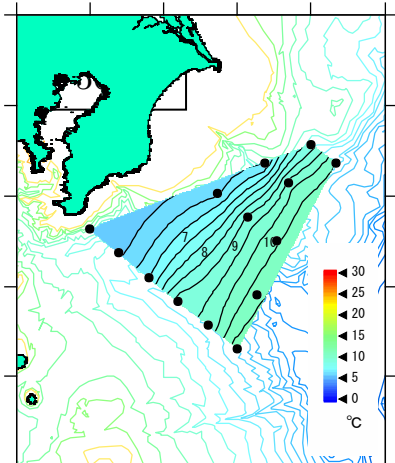
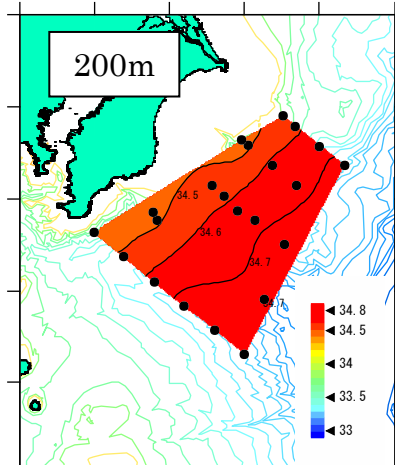
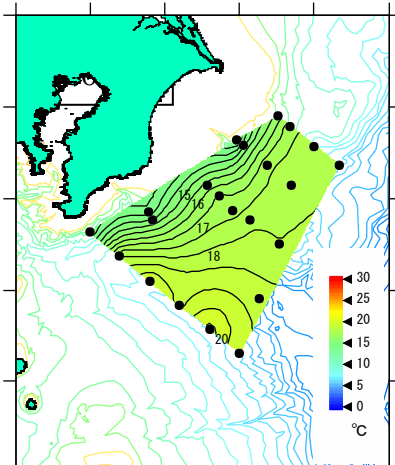
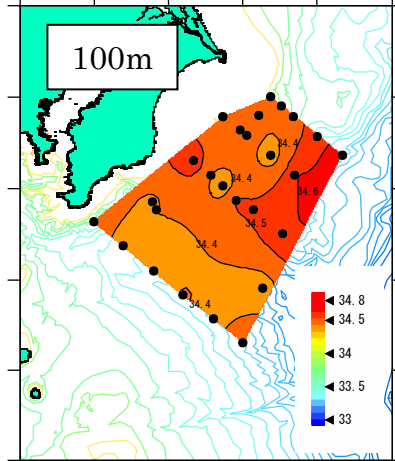
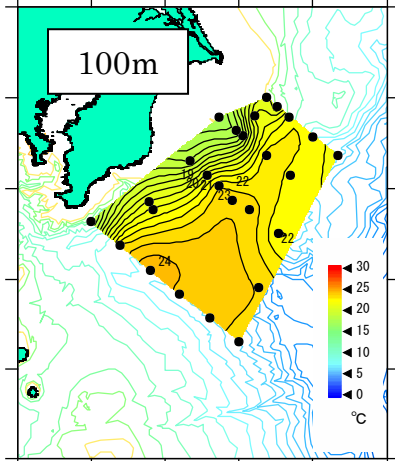
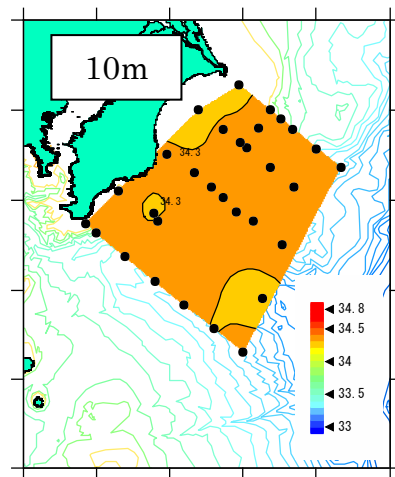
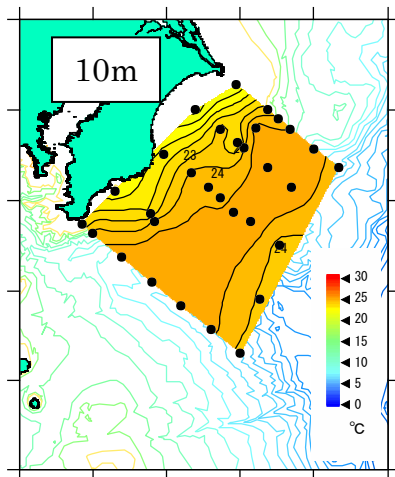


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

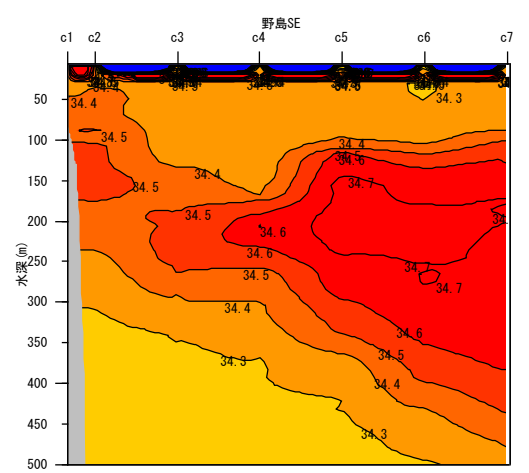
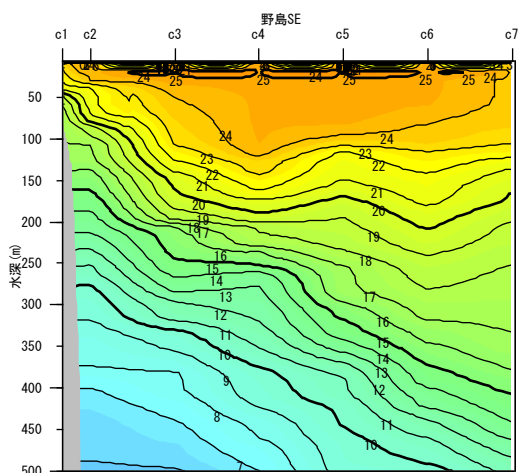
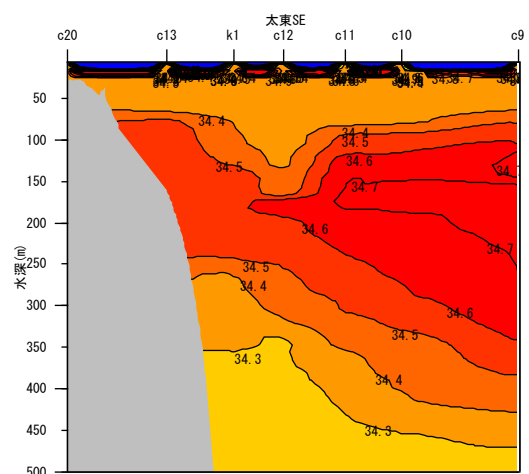
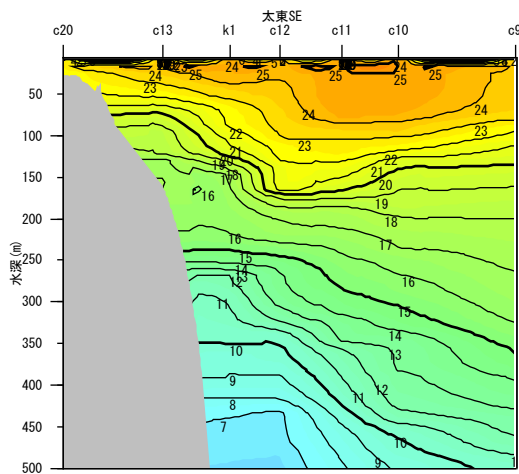
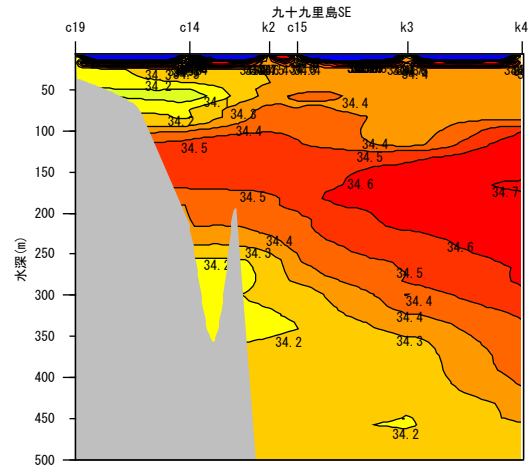
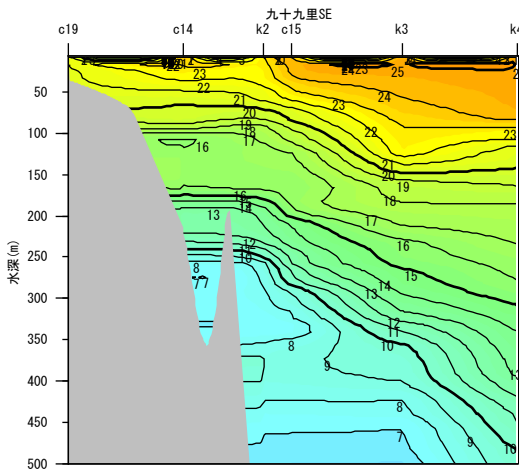
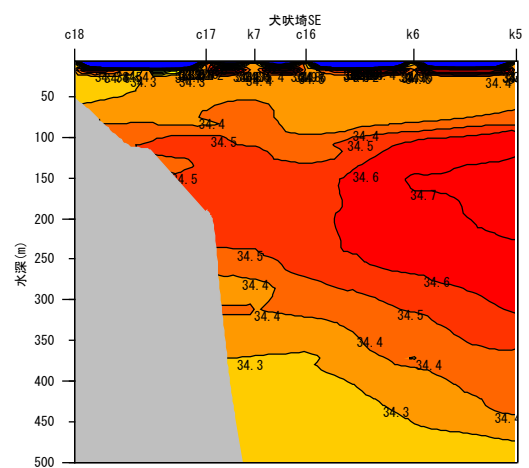
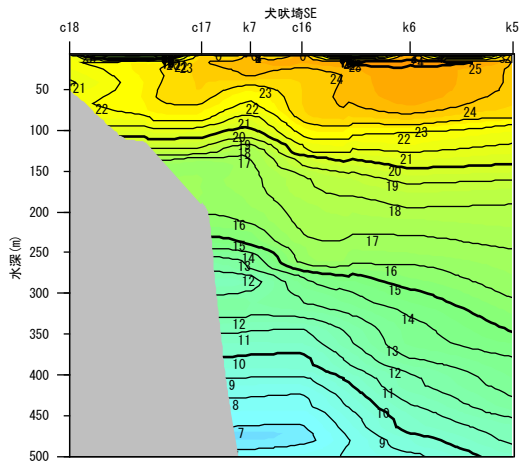


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

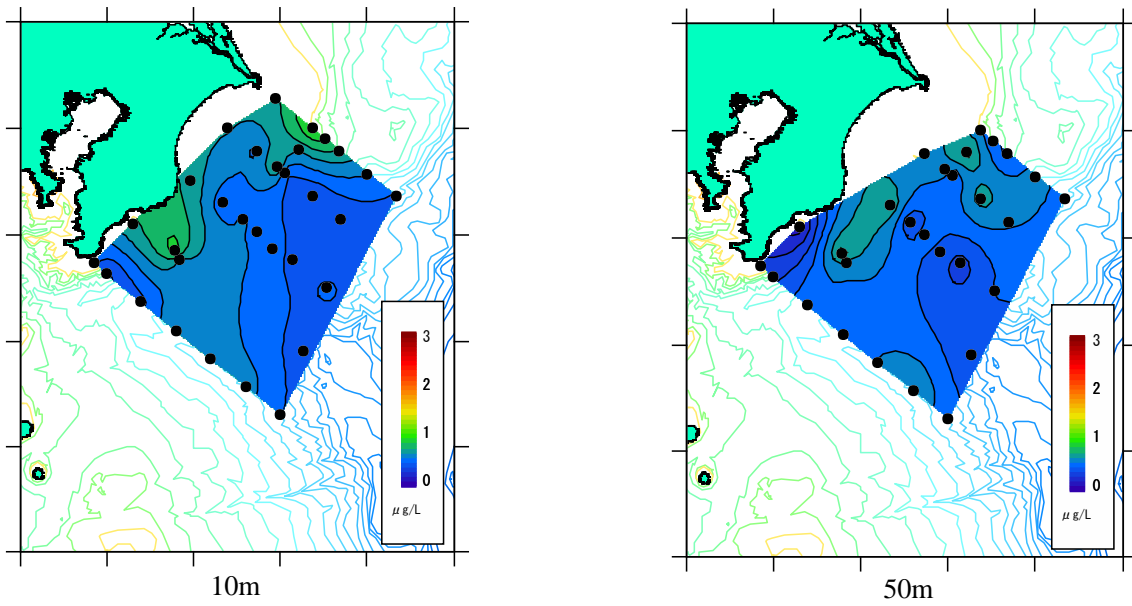
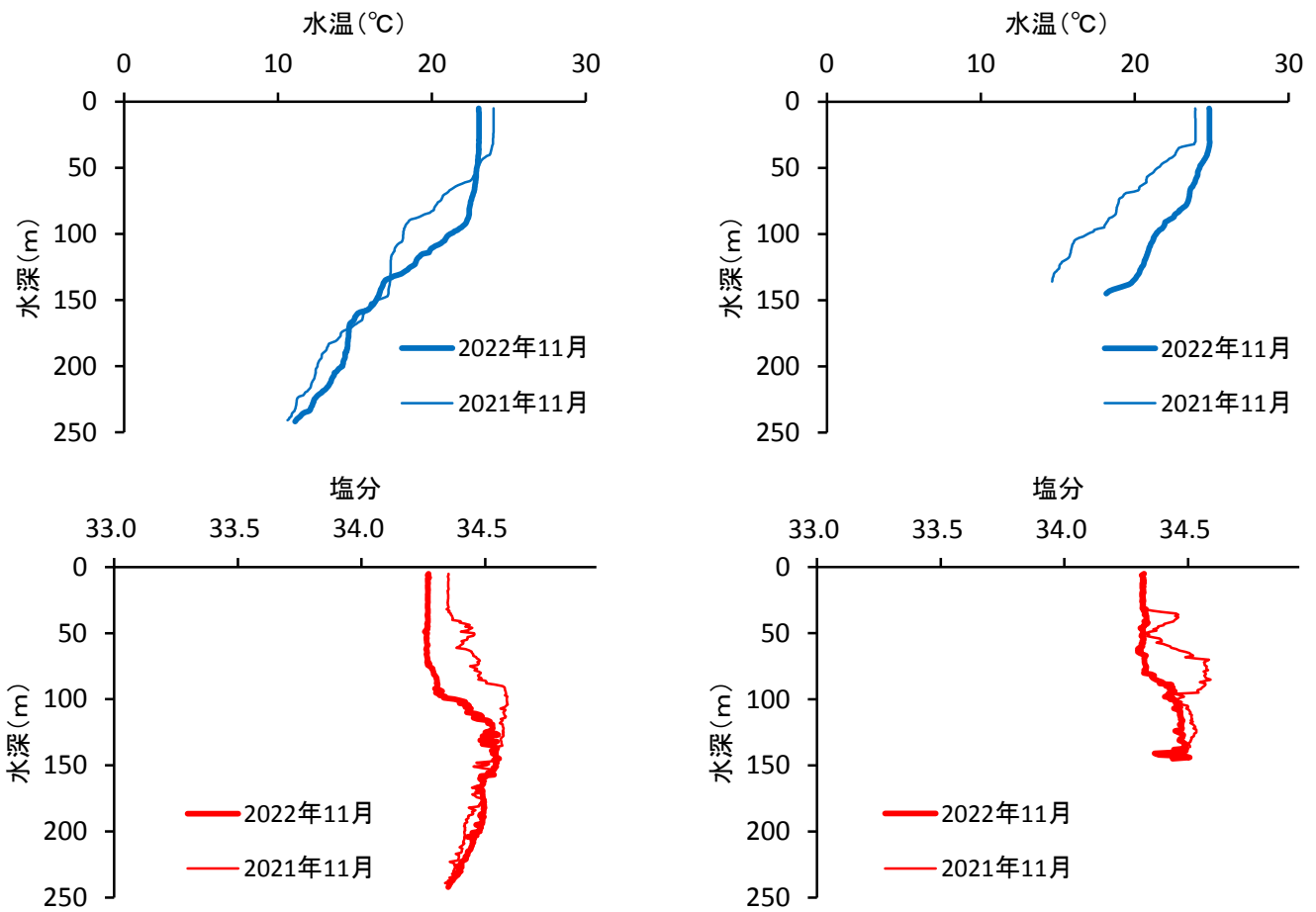


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)